



市議会だより

やっぱり野洲が好き



No.50

平成29年(2017年)5月

Contents 目次

- 定例会審議結果 P2
- 代表質問 P5
- 一般質問 P9
- 委員会報告 P13
- 出前懇談会・研修報告 P15
- 次回定例会予定 P16

近江富士花緑公園にて
(市民からの投稿)

平成29年 第1回定例会提出案件の審議結果

平成29年2月28日開会の第1回定例会では、議案41件(平成29年度当初予算12件、補正予算8件、条例制定・改廃16件、その他5件)修正動議2件、決議1件、附帯決議1件、意見書4件について審議しました。



■ 全員賛成で可決した案件

【市提出議案】

分類	議案番号	件名	審議結果
予 算	議第1号	平成29年度野洲市一般会計予算の修正案による修正部分を除く 平成29年度野洲市一般会計予算	可決
	議第5号	平成29年度野洲市地域医療振興資金貸付事業特別会計予算	可決
	議第6号	平成29年度野洲市墓地公園事業特別会計予算	可決
	議第7号	平成29年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計予算	可決
	議第8号	平成29年度野洲市工業団地等整備事業特別会計予算	可決
	議第9号	平成29年度野洲市土地取得特別会計予算の修正案による修正部分を除く 平成29年度野洲市土地取得特別会計予算	可決
	議第10号	平成29年度野洲市水道事業会計予算	可決
	議第11号	平成29年度野洲市下水道事業会計予算	可決
補 正 予 算	議第14号	平成28年度野洲市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
	議第15号	平成28年度野洲市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決
	議第16号	平成28年度野洲市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決
	議第17号	平成28年度野洲市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	議第18号	平成28年度野洲市基幹水利施設管理事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議第39号	平成28年度野洲市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	
条 例	議第20号	野洲市個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
	議第21号	野洲市くらし支えあい条例の一部を改正する条例	可決
	議第22号	野洲市防災センター条例の一部を改正する条例	可決
	議第23号	野洲市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び野洲市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
	議第24号	野洲市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例	可決
	議第26号	野洲市市民活動支援センター条例の一部を改正する条例	可決
	議第27号	野洲市介護保険条例の一部を改正する条例	可決
	議第28号	野洲市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
	議第29号	野洲市野洲駅自由通路昇降機条例の一部を改正する条例	可決
	議第30号	野洲市地域ふれあい公園条例の一部を改正する条例	可決
議第31号	野洲市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	

分類	議案番号	件名	審議結果
条例	議第32号	野洲市空き家の適正管理に関する条例を廃止する条例	可決
	議第33号	野洲市青少年問題協議会条例を廃止する条例	可決
	議第40号	野洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
その他	議第34号	相互救済事業の委託につき議会の議決を求めることについて	可決
	議第35号	市道路線の認定について	可決
	議第36号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任
	議第37号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	適任
	議第41号	野洲市教育委員会教育長の任命につき議会の同意を求めることについて	同意

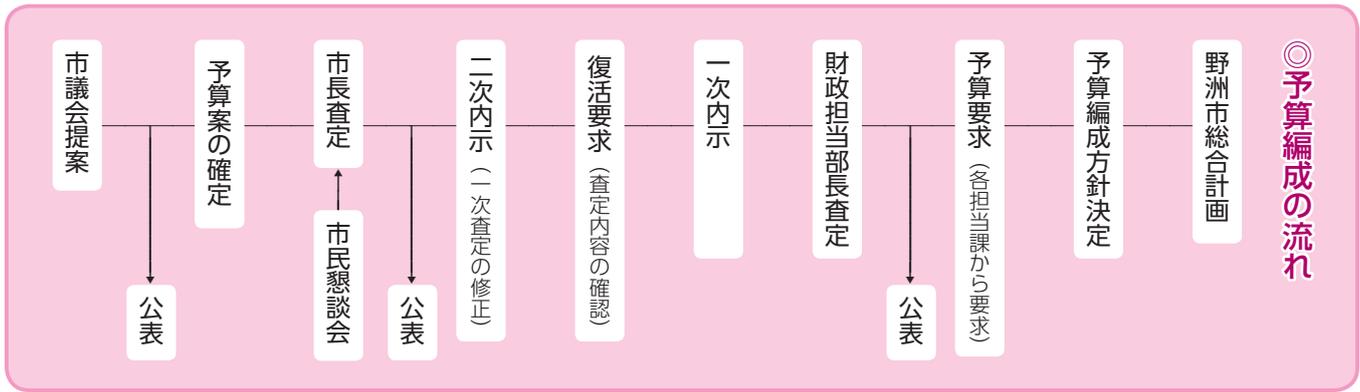
■ 賛否が分かれた案件 ○：賛成 ●：賛成しない

【市提出議案】 ※議長(坂口哲哉 議員)は採決に加わりません。可否同数の場合、議長が裁決します。(議員名は議席番号順)

分類	議案番号	件名	審議結果	稲垣	北村	荒川	丸山	岩井	高橋	太田	野並	東郷	中塚	上村	市木	山本	鈴木	矢野	梶山	坂口	河野	立入
予算	議第2号	平成29年度野洲市国民健康保険事業特別会計予算 予算額 57億1,213万3千円	可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第3号	平成29年度野洲市後期高齢者医療特別会計予算 予算額 5億1,797万円	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第4号	平成29年度野洲市介護保険事業特別会計予算 予算額 39億7,955万7千円	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第12号	平成29年度野洲市病院事業会計予算 予算額 12億6,089万6千円 (※審議結果は可否同数のため議長裁決)	否決	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
補正予算	議第13号	平成28年度野洲市一般会計補正予算(第5号) 〔歳入〕個人市民税の増額と主要法人の減収による法人市民税の減額 ほか 〔歳出〕新発達支援センター施設整備現行計画の取りやめによる実施設計委託料の減額 ほか 補正額 4億1,566万円の減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第38号	平成28年度野洲市一般会計補正予算(第6号) 繰越明許費設定(野洲駅北口駅前広場整備事業 ほか4件) 繰越額 1億3,891万8千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議第19号	野洲市農業委員会の委員の定数に関する条例 農業委員会等に関する法律の改正に伴う条例制定(定数26人・平成29年7月20日施行)と併せて野洲市農業委員会に関する条例を廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第25号	野洲市税条例等の一部を改正する条例 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律の施行等に伴う所要の改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議員提出議案】 ※議長(坂口哲哉 議員)は採決に加わりません。可否同数の場合、議長が裁決します。

分類	番号	件名	審議結果	稲垣	北村	荒川	丸山	岩井	高橋	太田	野並	東郷	中塚	上村	市木	山本	鈴木	矢野	梶山	坂口	河野	立入	
修正動議	議第1号修正案	平成29年度野洲市一般会計予算(修正案)市立病院整備にかかる予算を減額修正 当初予算額199億3千万円を198億7,246万5千円に減額修正 (※審議結果は可否同数のため議長裁決)	可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	—	○	○	
	議第9号修正案	平成29年度野洲市土地取得特別会計予算(修正案)野洲駅南口の市立病院建設用地取得にかかる予算を減額修正 当初予算額13億4,497万2千円を2億1,992万2千円に減額修正 (※審議結果は可否同数のため議長裁決)	可決	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	—	○	○
決議	決議第1号(附帯決議)	議第19号野洲市農業委員会の委員の定数に関する条例に対する附帯決議(案)同規則案に一般公募制や青年・女性登用規定の改正を行い、青年・女性の積極的な登用を要望する決議	否決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	
	決議第2号	福祉医療費助成制度の拡大を早期に求める決議(案)平成28年11月議会で「福祉医療費助成制度の拡大に関する請願書」を採択したことにより、関係当局と調整を図り早期実施を求める決議	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	—	○	○
意見書	意見書第1号	組織犯罪処罰法改正案に反対する意見書(案)	否決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	○	●	●	●	—	●	●	
	意見書第2号	「給与所得税に係る特別徴収税額の決定・変更通知書(特別徴収義務者用)」への個人番号の記載を中止することを求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	—	●	●	
	意見書第3号	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	意見書第4号	無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○



◎予算編成の流れ

インターネットで
本会議の映像を
配信しています

本会議の映像は、野洲市のホームページから市議会のページを開いていただくご覧いただけます。
配信は、ライブ中継と録画中継になります。録画中継は、約1週間後から配信します。

また、会議録は市議会のホームページ、市役所情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。



<http://www.yasu-city.stream.jfit.co.jp/>



代表質問

代表質問および9ページからの一般質問の掲載内容は、主な質問、答弁の概要のみです。詳細は、市議会のホームページの会議録またはインターネット録画中継をご覧ください。また、会議録は市役所情報公開コーナー、図書館、各コミセン等で閲覧できます。



公明党

かじ やま いく よせ
梶 山 幾 世

◎平成 29 年度施政方針について

問 野洲市民病院の実施設計に入るとい市民病院元年を迎えた市長の率直な思いは。

答 長年の民間病院への多大な支援が立ち行かなくなり、このままでは市民の中核医療を守れないという問題解決として、6年前、市民、専門家に問いかけ、市が責任を持って病院を設置すべきとの提案により行っている。慎重に進めなければと気を引き締めているのが率直な思いである。

問 在宅医療、在宅介護、訪問診療など在宅での療養を支える連携体制をどう築いていくのか。

答 開業医が外来診療しながら在宅医療を実施するには限界がある。在宅医療を行う医師の後方支援機能を担うために中核医療は必要。特に在宅療養者の病状急変時の受け入れ等の支援機能を果たしていく。

問 法人市民税の減収で、新年度予算で1億5,500万余の減収となっているが、今後の税収見通しは。

答 本市の税収は法人市民税がかなりの割合を占めている。市税の減収見込みの要因は、円高で市内の事業所の減収が主な要因である。今後も消費税引き上げによる税率引き下げの制度改正で法人市民税への依存はかなり厳しくなると考えている。

問 地域経済活性化の取り組みは。

答 地域経済の発展のためには、大手の事業者の設備投資等が重要である。国道8号バイパスに絡んで6ヘクタールの工業団地を整備しようとしている。今後、国道8号バイパス等の道路整備を生かし、企業から要請されている事業所の立地ができるような体制を整え、足腰の強い地域経済を展開させたい。

問 クリーンセンターの余熱利用施設整備に伴う周辺の構想、利便性、安全性、集客力は。

答 市民の憩いの場として、プールや地産地消等の施設を整備。おのりやすのバスの路線増にも取り組む。



野洲クリーンセンター

◎地方創生の本格的な事業展開について

問 野洲市まち・ひと・仕事創生総合戦略の策定から1年。施策の達成状況の検証、改善策の取り組みは。

答 検証は、地方創生加速化交付金を活用した人口減少社会のライフスタイルとまちづくり転換事業について実施した。評価結果は3月25日に開催のまちづくり市民懇談会で、各種市民団体の代表者、専門家に効果の検証をしていただく。改善については、本市の中長期的課題をこの仕組みの中に入れていく。

◎教育方針について

問 教諭の働き方において長時間労働により、心を病む教員が全国的に増えている。勤務実態の課題は。

答 共通課題として、保護者や地域からの要望への対応、児童・生徒の問題行動への対応、事務的な業務である。加えて、情報教育、環境教育、国際理解教育等、教育内容の増加も挙げられる。

問 早寝・早起き・朝ごはん運動、おはよう、ありがとうのあいさつ運動の実態と徹底を。

答 社会環境の影響も大きく、生活習慣の乱れも見受けられる。早寝・早起きは、ゲームやスマートフォン等の家庭での利用時間を保護者に啓発。食に関する指導は、栄養教諭による授業、「湖っこ健やか元気アッププラン」で、意識向上につなげている。あいさつについては、学校全体で啓発に取り組み、児童・生徒の委員会による積極的な活動も進めている。

問 不登校対策の取り組みについて。

答 不登校の実態は横ばい。児童・生徒の要因を、スクールソーシャルワーカーと教職員によるアセスメントで支援の方策を探り、取り組む考えである。



◎市民病院の整備について

問 厳しい財政状況の中で新病院整備を進めるにあたり、住民のコンセンサスを得ることが必要不可欠であり、計画に反対或いは疑問のある市民に対し、誠意ある対応と丁寧な説明が必要と思うが、その考えを問う。

答 市民のコンセンサスを得るのは、当然のことだと考えており、ご指摘の通りである。平成23年から野洲病院の提案に対して、市民代表、専門家に公開で議論していただいた結果（あり方検討、可能性検討、基本方針等）を進めている。

問 現・野洲病院の施設を先に「移転元の病院」として市立病院化して運営するという二段階方式を考えたのはいつの時点か。なぜ、この会期中に出したのか。

答 この方式は、平成26年1月14日基本構想検討委員会開催後、2月5日の都市基盤整備特別委員会の議題とした。現在、現・野洲病院の財務状況が堅調で懸念した財政リスクが軽減できると判断したため出した。

問 医師等の駐車場73区画分を遊休市有地へとあるが、遊休市有地とはどの市有地を指しているのか。

答 第一に考えられるのは庁舎の土地の有効利用。また、老人福祉センター、今の発達支援センターを将来的に解体するので、場合によっては職員の駐車場として使えると考えている。

問 建設費の高騰に関し、一般会計からの繰入金金の増加額は、2割増しとして1,700万円となるが、建築単価の上昇への対応と建設計画の見直しを問う。

答 2割増しのシミュレーションは行っている。駐車場を附属設備としたことで、起債に有利である。駐車場の建築単価は1平米36万円もしないので、絶対額は増えるが、全体の平米単価は36万円をある程度守れる。

問 病院事業の赤字が一般会計に影響し、市民負担が増大した場合の、責任について問う。

答 政策決定に係る責任は地方自治法に定められており、違法性、不当性、あるいは職権乱用があった場合等に責任が問われる限定責任である。

◎琵琶湖周辺の振興施策について

問 施政方針に、琵琶湖周辺について言及していないが、これまでの琵琶湖周辺の整備や振興施策について、どのような取り組みをしてきたのか、また、今後、どのような考えを持っているのかを問う。

答 第3セクターの野洲市湖岸開発株式会社については、建設業許可を廃止し、菖蒲地区の植栽維持管理業務を取りやめ、キャンプ事業に一本化する方向転換をし健全経営を達成している。また、吉川地区の2.4haの土地を再生可能エネルギー事業所に20年間賃貸した。また、湖岸緑地中主吉川地区整備事業で、総事業費10億7千万円で平成28年3月に完了した。今後については、野洲市観光振興指針に基づいて湖岸の活用と市民の福利の向上に取り組む。



マイアミオートキャンプ場

◎近江富士団地内の公共施設の跡地利用について

問 旧三上幼稚園敷地と現三上保育園の廃止後の敷地利用計画について問う。

答 旧三上幼稚園敷地の跡地について、現在は跡地利用の計画はない。現三上保育園の廃止後の計画では跡地は住宅地に売却という方針を庁内で出している。

◎学校における英語教育の充実について

問 学校現場が抱える課題とその課題解決のための対応方法、また、次期学習指導要領の英語教育の早期化に向けた教育委員会の方針について問う。

答 授業時間数の確保が課題であり、時間割編成や時間割の工夫を考慮し過重な負担がかからない望ましい形で確保に努める。方針として、専科指導教員を配置し、英語教育推進リーダーとして位置付け、指導体制の強化を図る。



リベラル野洲

いわ い ち え こ
岩 井 智 恵 子

◎平成 29 年度施政方針について

問 平成 29 年度一般会計予算規模は 199 億 3 千万円で対前年度より 8 億円減となっているが、その理由として、新クリーンセンター本体の整備が完了したことが挙げられているが、それ以外の要因はないのか。

答 ゆきはたこども園の完了や工業団地等の特別会計拠出金が平準化されたこと、公債費の長期債の償還元金が大きく減少したことが主な減少の要因である。

問 待機児童（平成 29 年 1 月末現在 46 人）解消に向け、施策を打っているのか。

答 施設整備支援で定数を増やしてきたが、保育士の確保が課題で、待機児童が発生している。独自で保育士バンクを昨年 7 月から開設している。正式に厚生労働省への届出を行い、市内の保育園はもとより、こども園、幼稚園等を就労先としたハローワークと同様の無料職業紹介としての機能を持っている。実登録者数が 78 人で、現在 39 人が就職に至っている。来年度は、働きやすい環境整備・就労条件の中でバンクを機能させ保育士の確保に取り組んでいきたい。

問 学校現場での課題対応として、特別支援教育の体制整備を図り、スクールソーシャルワーカーの増員配置は、児童・生徒に配慮された施策の一つであり現場からもありがたいという声があがっている。

一方いじめ、虐待は現在 222 件と把握されているようだが、児童・生徒の不登校、虐待の現状と課題や取り組みについて伺う。

答 対策としては、スクールソーシャルワーカーを含む学校職員が、不登校になった要因を評価し、環境の調整を図りながら、児童生徒が復帰できるよう支援を行っている。スクールソーシャルワーカーに関して県は 1 人だが、平成 28 年度は市単独で 4 人、平成 29 年度はさらに 1 人増員を予定し、不登校になる要因等、アセスメント、評価を丁寧に行っていきたい。

問 農業者の営農意欲の向上に向けた、取り組み支援とはどういうことか伺う。

答 基盤の問題として、農道の路面維持や水路の泥上げ等の取り組みに対して、国の世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業への交付金で支援をしている。環境向上への活動を行う支援については、環境こだわり農産物の取組み推進のため、制度を知らせて現 36 団体が取り組まれている。また、おいで野洲まるかじり協議会が中心となってスイーツの商品開発など、新しい取り組みも実施されている。

◎平成 29 年度教育方針について

問 3 つの取り組みの方向性の成果と課題について伺う。

答 1 つ目の「子どもの育ちを応援します」では、子どもたちの多くは健やかな成長が見られるが、育ちにゆがみのある子どももいる。学校、教育委員会、発達支援センター、家庭児童相談室等と連携、協力をし、それぞれの子どもに合った対応を進めたい。

2 つ目の「子どもの生き抜く力を育てます」では、子どもたちの発達段階に応じた教育活動を一層充実させるとともに、特色のある元気な学校づくりに取り組む。また、研修を通して教職員の指導力アップにも努める。

3 つ目のだれでも・どこでも学びあう環境を整備しますでは、市民への学習機会の提供、文化芸術祭の開催、楽しくできるスポーツの提供を行い、今後も生涯学習、生涯スポーツへの取り組みを通して、生き生きとする生涯学習社会を、めざしたいと考えている。





日本共産党野洲市議会議員団

おお た けん いち
太 田 健 一

◎市政と教育方針全般

問 公共施設等総合管理計画（案）の中で将来の再編や統廃合が検討されているが、公共施設は市民の共有財産という視点での実施計画が具体化されるべきで、けっしてコストだけで削減されるべきではない。地域の声をしっかり聞く中で進めていく必要がある。

答 市民サービス重視で考えており、安易に施設にお金がかかるから廃止や統合をするということは、原則として一切行わない方針である。

問 マイナンバー（個人番号）制度は一部の大企業の利益や国民を管理することが目的であり、市民にとってメリットがないことは、カードの普及率が近隣自治体も含め1割以下と言う現状にも表れている。個人番号の記載は法的に強制ではないことから、市民に対して周知すべきでは。

答 市の各課窓口での個人番号記載は本人の同意を得て記載をお願いしており、義務でない旨を説明して各課で対応している。

問 平成30年からの国民健康保険の広域化により、本市の保険税が引き上げとなる試算結果が出されている。本市の保険税は県下でも高く、引き下げを求め続けているが、一般会計からの法定外繰入の復活や減免制度など市の独自施策が必要。将来的に県内での保険税の統一化も示されているが、市町の裁量権を生かして国保税の統一化は行うべきではない。

答 統一化は否定しないが、今の制度ではさまざまな問題があり、少なくとも平成35年まではできないと考える。法定外繰入に関しては、他県との公平性を考えても好ましくない。

問 発達支援センターの人権センターへの移転計画が中止となったが、現時点での移転先の検討状況や人権センターや発達支援センターの跡地利用は。

答 発達支援センターの移転先は、市内の市有地を対象として新施設の整備の選定に向けての調査を進めている。人権センターや発達支援センターの跡地



現・発達支援センター

利用は、公共施設等総合管理計画で策定する。

問 医療費無料化の拡大については、平成28年11月議会で、小学校3年生までの通院費無料化の請願を可決したが、行政として重く受け止めるべき。

答 以前に実施の検討も行なっていたことから決議は重いと受け止めているが、現状では安易には行えない。

問 学童保育の土曜保育は市長選挙の公約にも掲げられていたが、実施の時期や場所、利用料金などは。

答 4月から条例に基づく検討会を保護者や運営側、専門家も入った中で協議し、検討を進めていく。

問 コミュニティバスは今後のクリーンセンター余熱利用施設や新病院整備に向けて、路線の拡大等の充実が必要。

答 新たな施設利用も含め、運行改善に向けた路線図やダイヤ、バス停などの改正案の検討を進める。

問 新病院建設は計画通りの実施を多くの市民が望まれる中、基本設計検討の市民懇談会が開催されたが、参加者の状況や意見は。

答 関連スタッフを含めて80人を超える参加で、駅からのアクセスや施設のあり方、駐車場、運営のあり方についてなど多くの意見があり、基本設計の中に入れ込みたいと考えている。

問 市内各小中学校でのスクールソーシャルワーカーの増員や、保健室2人体制の配置が必要。

答 平成29年度からスクールソーシャルワーカー1人を増員予定で6人体制とし、養護教諭は野洲小学校と中主小学校が複数配置で、配置基準の引き下げと加配の充実を県に要望する。

一般質問



やまもと つよし
山本 剛

◎野洲市くらし支えあい条例について

問 生活が立ち行かなくなった市民への支援を目的に野洲市くらし支えあい条例が平成 28年 10月から施行されているが、この条例ができたことについて、事業者への周知や啓発はどのようにしたか。

答 市のホームページで条例に関する資料を公開している。日本訪問販売協会、銀行協会、野洲市商工会など業界団体に出向き、加盟事業者に対して周知・協力を求めた。

問 事業者等に消費者トラブルを防止するための情報提供や研修にどう取り組んでいるか。

答 平成 28 年度については条例が施行された年であり、関係登録事業者に消費トラブルに関するリーフレット等の配布を行った。

問 事業者が野洲市内で訪問販売を行うときは登録が必要だが、現在の登録事業者数は。

答 今年 3 月 1 日時点で申請数が 101 件で 90 事業者が登録している。

問 見守りネットワークは構築されているか。また消費者安全確保地域協議会は設立されているか。

答 ネットワークは設立に向けて協議中で、消費者安全確保地域協議会は条例の施行とともに設置した。



野洲市くらし支えあい
条例パンフレット

◎学童保育について

問 学童保育所は学童の居場所や育ちの保障、親の就労支援の機能をもつ施設として重要な役割を担っている。昨年のアンケートの結果、半数弱の保護者が土曜日保育を希望されているが、このことについて市の考えは。

答 「野洲市こどもの家持続ある運営を考える委員会」で調査検討をいただき、その提言をふまえ、効率的な実施につなげることができたらと考えている。



きたむら いすず
北村 五十鈴

◎子宮頸がんの不安について

問 子宮頸がんは原因がヒトパピローマウイルス、HPV というウイルス感染が原因で起こることがわかっているが、ワクチン接種は副反応の心配から受診率は低い。そこで従来の検査法にHPVに感染しているかを調べるHPV検査を加えたHPV併用検診が推奨され始めているが、本市の周知対応を問う。

答 まず本市の子宮頸がん検診の平成 27 年度の受診率は 17.2%である。現時点では、HPV検査についての周知はしていないし、実施も考えていない。

◎湖岸活用の協議会について

問 湖岸に面する貴重な観光資源の創生について地元

で協議会を重ねてきたが、昨年6月以来、今に至る9か月間、行政から対話および進捗の報告もないが、どうしてか問う。

答 大きな課題があったということは、客観的な事実であり検討していた。これからのことは野洲市観光振興指針の中にどう取り組んでいけるか考えしっかり取り組んでいく必要があると考えている。

◎新交通システムについて

問 75 歳以上の高齢ドライバーの免許更新が大きく変わる改正道路交通法が 3 月 12 日から施行され、認知症と診断されると免許取り消し停止処分となる。早急に新交通システムが必要と考えるが、本市の方向性を問う。

答 地域公共交通が果たす役割は大変重要性が高まってくると考えているが、やはり本市の状況から考え、コミュニティバスが一番合っていると判断している。コミュニティバスの利用促進、あるいは利便性の向上に向けた検討をこれからも進めていきたいと考える。

一般質問



たか はし しげ お
高 橋 繁 夫

◎PCB (ポリ塩化ビフェニル) について

問 この汚染物は、市内のどこの施設で使用したものが。また、使用用途は。

答 現在、本市で保管している PCB 廃棄物は、126 個あり、祇王小学校 118 個、旧レークセンター 2 個、解体済の野洲第二保育園 3 個、解体済の野洲市教育集会所 1 個、使用箇所不明 2 個となっており、その用途はいずれも照明器具の安定器である。

問 廃棄物の処分予定は。

答 処分先である中間貯蔵・環境安全事業株式会社に処理希望計画書を提出し、登録を終えているが、現在、処理予約が集中しており平成 30 年度以降になるとの回答を得ている。

問 平成 28 年 11 月 11 日付で環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長名で必要な確認をする旨の通知がされているが、本市の対応は。

答 本市でも確認を行い、旧レークセンターにある照明器具の安定器 2 個が該当したことが分かり、撤去して本市の PCB 汚染物保管庫に保管した。

◎JR 篠原駅南口開設に伴う県道安養寺入町線について

問 県道安養寺入町線の完成はいつ頃か。

答 篠原駅南口アクセス道路から市道大篠原入町線交差点改良部分までの第 1 工区は、平成 28 年 5 月に完了し既に共用開始済みで、第 1 工区終点から国道 8 号に向かって約 600 メートルの第 2 工区は、平成 28 年度から着手している。平成 29 年度は、起点から自治会館までの約 480 メートルの区間の工事を終え、残る区間は、自治会館の移転完了後、工事再開し、平成 30 年度末には完成予定である。第 2 工区から国道 8 号に至る第 3 工区の歩道整備の予定は現時点ではないので、3 か所に分散した集落のコミュニティの維持、発展のため県に早期重要化を要望していく。



工事中の第 2 工区



とう ごう まさ あき
東 郷 正 明

◎働き方改革と市職員の実態に関して

問 本市における正規職員と嘱託職員の割合は 10 年前と比べてどうか。

答 10 年前の平成 18 年度は正規職員が 75%。嘱託職員が 25%である。平成 28 年 4 月現在では、正規職員が 68%、嘱託職員が 32%となっており嘱託職員の割合が若干増加している。

問 時間外労働が 1 か月に 70 時間を超えた職員はいるのか。また、2 か月・3 か月と連続して超えていたということはないか。

答 平成 27 年度において、一度でも超えたことのある職員は 36 人いる。連続して超えた職員もいる。

問 時間外労働が最も多かった職員の年間時間外労働時間は何時間か。

答 年間で 1,228 時間である。

問 年間の時間外労働が 1,200 時間を超えているということになると 1 か月に 100 時間を超えている。長時間労働に対して今後どのような対策をとるのか。

答 管理職を通じて指導、配置転換も行った。適正な人事配置、組織の編成で対応していく。

問 政府は働き方改革実現会議で 1 年間の残業時間の上限を 720 時間、月 60 時間で合意し、繁忙期の上限を月 100 時間とした案が検討されているがこれについて認識を伺う。

答 有識者会議での検討なので尊重すべきと考える。

◎公共施設とサービスについて

問 野洲市公共施設統合計画案が出されているが、公共施設は市民の共有財産であり、コストだけで削減されるものでない。公共施設についての認識を問う。

答 建築施設は 123 施設、建築後 30 年を経過している施設が 2 割を超えている。今後、大規模改修や建替え等の検討が必要となり、多額の整備費用がかかる。適切な施設マネジメントが必要な状況にある。

【その他の質問】 農業支援策について

一般質問



矢野隆行

◎大災害時のストーマについて

問 オストメイト（人工肛門・人工膀胱保有者）は、大腸ガン・膀胱ガンなどのガン疾病や炎症性疾患などを治療するため、肛門、膀胱を手術によって、切除され、腹壁に造成されたストーマから排泄を行う排泄機能障がい、外見では見分けがつかない内部障がい者ともいわれている。このストーマとは、便や尿を排泄するために手術によって腹壁に造成された排泄口のことをいい、人工肛門の消化管ストーマと人工膀胱の尿路ストーマがある。オストメイトは市内で何人ぐらいおられるのか。

答 尿路系のストーマ装具等利用者は 21 人、消化器系のストーマ装具利用者は 60 人である。

問 障がい者等としてストーマ装具もその対象となっており、施設等入所の場合や入院の場合はこの

サービスが受けられないが対策は。

答 障害者等日常生活用具給付事業におけるストーマ装具の給付対象者について、平成 29 年 4 月から、在宅の障がい者に限らず、施設等入所の場合や入院の場合も給付できるよう実施要綱の見直しを行った。

問 本市のストーマ装具等と災害時備蓄として、内閣府の福祉避難所のガイドラインには、特に必要な物資として記載があるが見解は。

答 国の指針には記載があるが、「野洲市地域防災計画」には今のところ必要な物資としての記載はない。本市の避難所運営マニュアルでは、発災前に受けていたサービスを継続できるようにとの記述はあるが、個別の物資の細目については記載はしていない。

問 例えば器具を扱っている企業と連携して、避難所との引き継ぎ等、物資が受けられるような仕組みを企業との協定は結べないか見解を。

答 来年度市の地域防災計画の見直しを計画で、その見直しと合わせて福祉避難所での運営については、施設管理者と協議連携をし、必要な備蓄品の検討を行った上で取り扱い業者等の協定などの対応を検討する。

【その他の質問】・安定的な上下水道の確保について
・地域包括ケアシステムの実現へ向けて



鈴木市朗

◎環境基本計画およびマザーレイク 21 について

問 本市の面積は 80.14km²であり、陸面積は 60.56 km²、湖面面積は 19.58km²、県では命をつなぐ母なる湖のもと、2050年頃の琵琶湖のあるべき姿を念頭にマザーレイク 21計画を作成している。本市が作成している環境基本計画とマザーレイク 21計画との整合性を尋ねる。

答 双方とも琵琶湖の保全に関する事から整合している。

問 山から湖へつながる流域では多くの動植物が生息している、現状の河川をいかが受け止めているか。

答 県琵琶湖環境科学センターの調査報告では、家棟川流域で生息する魚の種類は県内の河川の中でも生物多様性に富んだ河川であるとの報告。

問 親水河川づくりプロジェクトの具体的取組みは。

答 川の再生、保全を図り、人が安心して過ごせ、

在来生物が生息できる場所づくり、更にビワマスが産卵できる魚道の設置などにより、生物の観察会等、知る機会の提供をしてゆく。

問 里山を守り育てるプロジェクトについては。

答 里山の保全活動、市民等の体験づくり又、例年 3 月 11 日、企業、地域団体 200 名の協力を得、大篠原の里山で植栽を実施している。

問 琵琶湖を守るプロジェクトについては。

答 水質浄化を推進するため、ヨシ群落の復活、湖畔の浸食防止対策を県に要望、方策を探っていく。

問 環境に優しい農地の活用、第2次農業振興計画の整合性は。

答 生態系への負荷が少なく安心安全な農業、世代を繋ぐ農村まるごと保全対策の取り組みを進める。



吉川地先より望む琵琶湖

一般質問



まる やま けい じ
丸 山 敬 二

◎条例に違反した場合の対応は

問 条例の条項の行為が罰則規定にない場合に、職員がその条項に違反した場合の対応は。

答 その行為が地方公務員法に抵触することになれば、その罰則規定の適用を受けることも考えられる。

問 昨年、個人情報の漏えいがあったが、このことについてはどのように思うか。

答 私の方では判断できないので答えられない。

問 平成26年第1回定例会で、条例等の整備について質問したところ例規は1,016本あり、条例の改正作業や告示は十分な確認ができていないので見直すと言っていたが、整備の状況を伺う。



野洲市例規集

答 現在は条例が229本、規則が207本、要綱その他が624本の合計1,060本あり、速やかに改廃を行っている。

◎未だに何を疑っているのか

問 平成29年1月26日の全員協議会で、野洲駅南口周辺整備で給与所得者の会との損害賠償交渉の協議資料が出され、それに所見として、Cブロックの購入を打診された市が購入を断ったことにより、民間マンションが建つようになったことに対し給所会が何も意見・要望等が無かったのか疑問である。と疑惑を持っていることを記載したことの根拠は。

答 過去の資料を基に客観的に判断して一般的なこととして記した。

問 部長はそういつているが、本当は市長が所見として書くよう指示したのではないか。

答 私（市長）は指示していないが、疑問点として入れたらどうかという形で調整した。

問 昨年の市長選挙のころ市長が市民に対し、あたかも私が何らかの利益を得ているようなことを言っていたと聞いたが事実か。

答 私はうそをつかない性格だが、記憶にない。



いな がき せい じつ
稲 垣 誠 亮

◎平成28年度介護老人福祉施設事業者の再公募の結果について

問 応募事業者の非選定という結果に対し介護保険運営協議会各委員から、「なぜ非選定になったのか。」「なぜという説明はないのか。」「審査に参加して私たちの印象としては、特に遜色がなかった。なぜかという疑問に思ったところである。」との意見が出ているが、市長の見解は。

答 私（市長）からお答えをし、各委員は了解された。

問 議事録を見る限り、市長が具体的な回答をしているようには思えない。各委員が納得された心証を市長が持たれたということで、理解してよいか。

答 私（市長）はそう思っている。

問 総合的に評価の上での非選定であり、この市長判断はリーガルチェック（予防法務）が入っているということで理解してよいか。

答 当然顧問弁護士に相談している。

問 滋賀県から本市への信頼性にも関わることであり、再発防止を臨みたいが、市長の見解は。

答 制度に則って対応している。

◎新・野洲市立病院整備について

問 精査のたびに事業収支計画がよくなっていくが、仮に、建築単価が2割上昇すると、減価償却費の増大により、開院後20年が経過しても、収支の累積損失は、赤字であると当職は試算したが、見解は。

答 3月10日の特別委員会で審議いただければと思う。

◎小学校3年生までの医療費無料化拡充を求める請願の採択後について

問 子どもの医療費無料化については、議員になってから取り組んできた課題で、広範な市民の願いでもあり、とりわけ子育て支援にとって有効で、しなければならない制度である。市長はどのように受け止め対応されるのか。市長の見解は。

答 請願の採択は重く受け止めている。

反問（市長）医療費の無料化には、年間4千万円が必要となるが、費用捻出の優先順位は。

答（稲垣）例えば、ふるさと納税制度による本市の損失金額は、年間2千万円を超えている。制度充実による充足や、不足分は各事業を精査し、減額すればよい。

委員会報告

今定例会に提案された平成29年度予算、条例等の付託案件について、各委員会で慎重に審査しました。委員会審査で行われた質疑応答の内容の一部について、概要を掲載しました。また、議会改革推進特別委員会では、議員報酬の改定や議会モニター制度等について協議しました。

議会改革推進特別委員会

●議員定数と報酬について

議員定数と報酬について、やす市議会だよりNo.47（平成28年8月1日発行）でお知らせしたとおり、定数については、議員発議で定数条例の改正を行い、次回の野洲市議会議員一般選挙から18人にすることが決まりました。

一方、平成29年4月から議員報酬月額の見直し案を提出する予定でしたが、平成29年度当初予算では、11月からの内容になっていたため、改定案の提出を見送ることにしました。

●議会モニター制度について

議会モニター制度の導入について、平成29年2月に実施したアンケートの主な結果について以下のとおり報告します。

- 回答者数62人で制度の導入に賛成42人、反対1人、どちらでも11人、無記入8人でした。

- モニターへの就任については、是非やりたい10人、頼まれれば14人、やりたいができない13人、やりたくない15人、無記入10人で、制度には賛成するがモニターになることには消極的である。
- 他のアンケート項目やこれまでの懇談会等での意見などを参考に、委員間で協議した。

結果、現段階では議会モニター制度を導入するには無理があるという結論に達しました。

また、タブレット端末の導入については、引き続き調査研究を行っていきます。



議会改革推進特別委員会

予算常任委員会総務分科会・総務常任委員会

◆平成29年度野洲市一般会計予算

問 ストレスチェック実施経費が計上されているが、長期休職者についての検証とその後の対応は。

答 メンタル等での休職者には個別で対応し、専門医による相談体制をとっている。

問 北部合同庁舎外壁改修工事設計業務委託費が計上されているが、屋根の防水工事が行われたときに外壁の調査は行わなかったのか。

答 屋根の工事のときに外壁の状態が危険と判明したので、今回、全体調査および実施設計費を計上した。

問 コミュニティバス運行見直し等検討業務では、市民の意見はどのように反映されるのか。

答 調査員がバスに乗り込んでの実態調査と、バス利用者へのアンケートによる意向調査および関係者や自治連合会との懇談会も考えている。

◆野洲市空き家の適正管理に関する条例を廃止する条例

平成25年に本条例が施行されたが、平成27年には空き家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、条例で規定する内容はこの法律に含まれるため、今回廃止をするものである。

以下主な質疑応答の概要

問 空き家の活用として、他の自治体では空き家バンク制度を実施しているが本市ではどうか。

答 空き家バンクは、改装等をしなければ住みにくく、草津市でも1件しか事例がなく、本市としては、市の実情に合わせた有効活用を考えていきたい。

問 特別措置法に示されている協議会の設置等はどうに進めるのか。

答 条例はまだ施行中であり、条例を廃止してから対策協議会の設置を考える。

問 条例廃止によるメリットはどのようなものか。

答 特別措置法により総合的な空き家の対策が可能になる。また、固定資産税の課税データ利用をうたっているほか多くのメリットがある。

予算常任委員会文教福祉分科会・文教福祉常任委員会

◆平成29年度野洲市一般会計予算

問 高齢者健康生きがいづくりボランティア活動支援事業とはどのような内容か。

答 平成28年度まで高齢福祉課が主催で生きがいづくりのサークルというものを開催しており、サークルは15サークルあったが、平成29年度からは野洲市老人クラブ連合会の中で活動していただくということで、連合会に対して補助金の交付をしようとするものである。今回、これらのサークル活動の経験を生かした地域でのボランティア等の活動の検討も含め、野洲市老人クラブ連合会、高齢福祉課、社会福祉協議会等がともに協議しながら、生きがいにつながる相互支援の仕組みづくりを検討していく。

問 教育振興事業費で、不登校児童・生徒への支援とあるが、不登校児童・生徒の人数と具体的な支援の内容は。

答 平成24年度から平成27年度の人数推移は、小中学校合わせて、平成24年度が53人、平成25年度が51人、平成26年度が64人、平成27年度が57人となっている。また、支援としては、心のオアシス相談員やスクーリングケアサポーターの配置、学校での個別の支援やふれあい教育相談セン

ター等の活用などさまざまな形で支援している。

問 市立病院整備推進事業に関し、3月10日の野洲市民病院整備事業特別委員会で、地方公営企業の会計基準の収支見直しの報告があったが、それに伴い収支が変わってくるので、各年度の暫定案を予算執行までに示してもらえないか。

答 3月10日の野洲市民病院整備事業特別委員会では、事業が安定軌道に乗るであろう10年目を仮に例とした粗い試算という形で概算ベースをお示しした。6月には基本設計の完了とともに工事費等も一定精度が高いものが出てくると見込まれる。また、それに合わせて、6月の段階で各年の収支計画の見直しをしたいと考えている。現時点では、基本設計の途中段階であることから、仮の例とした10年目における変動の幅を概算でお示しすることにとどめさせていただいているところである。

◆野洲市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

問 本市の指定地域密着型の通所介護の事業所は、何か所あるのか。

答 平成29年1月1日現在で17か所である。そのうち1か所は、指定療養通所介護になっている。

予算常任委員会環境経済建設分科会・環境経済建設常任委員会

◆平成29年度野洲市一般会計予算

問 焼却処理施設等整備費のアドバイザー業務委託は運営事業者を選定するアドバイスをいただく業務か。

答 余熱利用施設の運営事業者を選定するためのもので、国土交通省にPFIで事業を実施するときの指針がある。

問 本市では、野洲小学校でPFI事業を中止した経緯がある。今回は市直営とPFI収支シミュレーションの比較はしたのか。PFI採用の余熱利用施設は今まで視察したところのどこにもなかった。十分検討してもらいたい。

答 従来の公設公営とPFIのBTO方式を比較すると、定量的評価で2.73%の効果が出ている。

問 米の生産調整が平成29年度で終わるが、新しい事業に進展してくのか。農家は切羽詰った心配をすることはしないのか。

答 滋賀県は、今までどおり生産調整の割り振りを行う案を持っている。本市では、従来から約32%の転作であり、県の意向を農業組合長会議で報告する予定である。

◆野洲市農業委員会の定数に関する条例

問 改正法では女性、青年を積極的に登用とあるが、自治連合会にはそのことが説明できていない。改正法で決められた一般公募もしていくべき。

答 今までのやり方をあまり変えず、当然若手の農業者や女性は必要とあるので、そのあたりは周知しながら、延長線上の中での公募をしたい。

問 本市の男女共同参画の目標は3割以上を女性にと言われている。北野学区や野洲学区の一人枠では女性は無理ではないか。修正を。

答 男女共同参画審議会でも、話が出ているが、農業委員もだが、自治会長も女性が少ない。地域の中で方策を話し合ってもらい、そのように進めたい。

出前懇談会を実施しました

平成29年2月9日(木)に野洲市消費生活研究会との出前懇談会を実施しました。

文教福祉常任委員会委員が出席し、高齢者介護などについて懇談しました。

会場：野洲市役所本館3階 第1委員会室



平成29年2月16日(木)に野洲市ホテルを復活させる会との出前懇談会を実施しました。

環境経済建設常任委員会委員が出席し、ホテルが住める環境づくりや子どもたちの環境学習の取り組みなどについて懇談しました。

会場：野洲川田園空間博物館

野洲市議会では、市政の重要課題等をテーマに、議員が出向いて市民の皆さんのご意見等を直接お聴きする「出前懇談会」を年間通して実施しています。

概ね5人以上の市内在住または在勤している人で構成する団体やグループが対象で、1回につき2時間以内とします。開催期日の20日前までにお申し込みください。

詳しくは野洲市議会事務局まで。(TEL 077-587-6034)

研修報告

●議員人権研修

1月26日、野洲市教育委員会学校教育課職員を講師に迎え、「みんなが…」「昔から…」と身近な人権について考える」をテーマに、人権研修を開催しました。

講師から身近な事例をもとに人権問題について考えることをお話しいただきました。

「みんなが…」というのは、「社会性」であり、「昔から…」というのは「歴史性」であり、人権問題は社会性と歴史性をもっていることで、私たちにとって身近な「あたりまえ」は正しいのかということを改めて考えさせられました。

また、人権のまちづくりのキーワードとして、「自尊心」、「プラス思考」、「人は変わる」、「人権は行動」現実社会のしくみ(システム)や法律を変えること」などを挙げられました。

昨年は「障害者差別解消法」、「ヘイトスピーチ対策法」、「部落差別解消推進法」が施行されました。

まさに講師の言われた「人権は行動」現実社会のしくみ(システム)や法律を変えることが具体化された例であります。

今回の研修を受けて、これらの法律をどう具体化していくかが今後の課題であると再認識しました。



今後の議会予定

月日	曜日	種別	開議時刻	摘要
6月8日	木	本会議	9:00	上程議案の提案説明
15日	木	本会議	9:00	議案質疑、一般質問
		委員会	本会議終了後	予算常任委員会
16日	金	本会議	9:00	一般質問
19日	月	本会議	9:00	一般質問（予備日）
20日	火	委員会	9:00	委員会審査
			13:00	委員会審査
21日	水	委員会	9:00	委員会審査
27日	火	委員会	9:00	予算常任委員会
29日	木	本会議	13:00	委員長報告、質疑、討論、採決

※上記日程は都合により変更する場合があります。

傍聴のごあんない

傍聴を希望される方は、原則、自由に議場または委員会室（野洲市役所本館3階）の傍聴席にお入りいただくことができます。



No.50

発行日／平成29年5月1日

発行／野洲市議会

編集／議会だより編集委員会
〒520-2395

滋賀県野洲市小篠原2100番地1

TEL (077) 587-6034

FAX (077) 586-4300

野洲市議会ホームページ

野洲市議会 検索

市議会だよりに関するご意見・ご感想をお待ちしております。

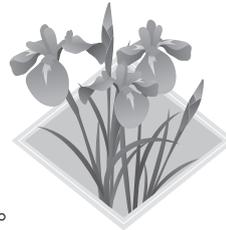
写真募集

「やす市議会だより」の表紙に掲載する写真を市民の皆さまから募集しています。

市内で撮影された自然や風景、行事など身近な写真をお待ちしています。

次号（8月1日発行）への応募は6月20日締切です。

応募方法は、市議会のホームページをご覧ください。



クロスワードパズル

【問題】

①(A)	⑦			⑨	⑩
②		⑧(B)			
⑥(C)	③			(D)	⑪
④		(E)			
⑤	(F)				

(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)
-----	-----	-----	-----	-----	-----

ヒント：花咲く大正ロマン

※最終問題の解答は13ページの下にあります。

【ヨコのカギ】

- ①アジア系として初めて常設国際司法裁判所の所長になったのは、〇〇〇峰一郎。
- ②星空もきれいに撮れる高〇〇〇カメラ。時代とともに性能は大きく進化。
- ③第一次世界大戦まで主流だった騎兵突撃での戦法は、あるものの装備により無力化された。それは、〇〇〇〇。
- ④大正4年「早川式繰出鉛筆」として発売されたものを〇〇〇〇ペンシルという。
- ⑤大正時代に日本初のインスタント食品として世に送り出された海草を原料としたものは、〇〇〇〇ヤ。

【タテのカギ】

- ⑥大正レトロのアンティーク着物は、華やかな〇〇など西洋の花柄模様が特徴。
- ⑦昭和の茶の間の風景。ちゃぶ台を囲んで家族〇〇〇〇のひととき。
- ⑧第一次世界大戦が終戦をむかえるきっかけとなった革命の起こった国は〇〇。
- ⑨富山湾で春から初夏にかけてにぎわう〇〇〇〇〇〇漁。富山市から魚津市にかけての群遊海面は、大正11年に国の天然記念物に指定され、今は特別天然記念物になっている。
- ⑩日本で捕虜となったドイツ帝国の兵士が発した、「Wriklich(本当に?)」と言う言葉が語源の日本語。〇〇〇〇。
- ⑪大正時代に活動写真で一躍有名になり、「日本の恋人」と呼ばれた明治・大正・昭和に渡って活躍した女優。〇〇〇〇すみ子。

【最終問題】 解答の(A) (B) (C) (D) (E) (F)をつなぎ合わせたメッセージは？